



～ 夢ひとすじに ～  
宮原中だより

自ら学び 心豊かに たくましく

平成 27 年度 第 6 号  
平成 27 年 9 月 1 日 (火) 発行  
さいたま市立宮原中学校  
メールアドレス  
miyahara-j@saitama-city.ed.jp  
ホームページアドレス  
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp/>

「寅さん」

校長 やました せいじ  
山下 誠二

今年の夏、運動部では、多くの部活動が県大会に出場し、頑張ってくれました。中でも陸上部が関東・全国大会、水泳部が関東大会、そして部活動ではありませんが、硬式テニスでの関東大会と昨年度以上に輝かしい成績を上げてくれました。美術部の展覧会にも行きましたが、優秀賞3名、佳作8名と市内の中学校でも大変よい成績を上げてくれました。合唱部は、8月23日の県大会で4位となり、9月19日に行われる関東大会に出場します。みんなで応援してあげてください。また、8月25日に安全奉仕委員の2名が、大宮警察署管内中学生自転車シンポジウムに参加しました。埼玉県は、都道府県の中で自転車事故が最も多い県です。自転車に乗っていた生徒がお年寄りにぶつかって9500万円の賠償金を請求された事例もあります。事故がないことが一番ですが、自転車保険への加入をぜひご家庭で検討してください。

さて、8月27日始業式の日には、『寅さんの日』でした。式辞で生徒にも話をしましたが、1969年(昭和44年)の8月27日、松竹映画「男はつらいよ」の第1作が公開されたことに由来して、この日が「寅さんの日」となったそうです。映画、「男はつらいよ」の魅力を一言で語るのは、大変難しいですが、寅さん(渥美清さん)が発する独特の言い回しが結果的に名言となり、大きな魅力の一つであったことは間違いありません。そこで、寅さんの名言の一部を紹介します。

- 「人間 金があるからって決して幸せとは言えないよ」
- 「ああ～生まれてきてよかったと思うことが、人間何べんかあるじゃない。そのために人間は生きてるんじゃないかな？」
- 「恋というものは、長続きさせるためには、ほどほどに愛するというのを覚えなきゃいけないんだよ」

という哲学にも通じるようなものから、

- 「しよぼたれるなよ。元気出せ、元気!!」
- 「いいか、人間誰も欠点というものがあるんだよ」
- 「やっぱり、真面目にね、コツコツコツコツやっていけば、いつか芽が出るんだから」



といった当たり前だが味わい深い、心理的なものまで数々の名言が語られています。そして毎回登場するマドンナたちは、みんな暗い過去を背負い、旅先で寅さんと出会います。寅さんは一言「いろんなことがあったんだなあ。今度辛い事があったら、東京は葛飾柴又の帝釈天の参道にこぎたねえ「とらや」っていう団子屋がある。寅にいわれたと言って尋ねてみな。よぼよぼのじじいとばばあが面倒見てくれるからよ。」マドンナたちは意を決して「とらや」を尋ねます。そして暖かい人との触れあいの中で傷ついた心を癒して、人生に旅立っていきます。私は、この映画自体が心理療法だと考えます。マドンナだけでなく観ている人まで癒される。それがこの映画の最大の魅力だと思います。心が傷ついたとき、レンタルビデオ屋さんで借りて、自分を「とらや」に出向かせたら、少しは悩みも軽減されるのではないのでしょうか。

